

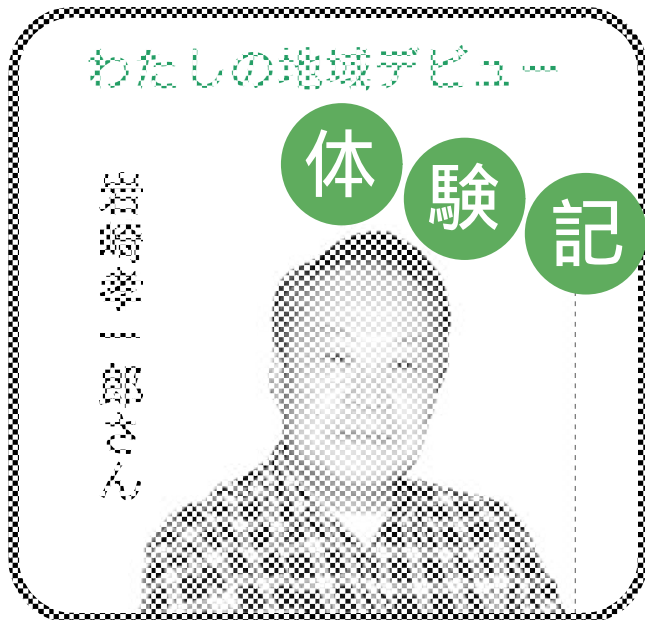
## 妻の声かけがきっかけ

岩崎孝一郎さん（65歳）が地域デビューしたのは2年前。妻の悦子さんから、保健所の『犬猫ボランティア』への登録を誘われたことがきっかけでした。

岩崎さん自身は、高津区溝の口に生まれ育っているものの、地域との交流はほとんどなかったそうです。男性は、退職しても地域に知り合いが少ないため、家にこもりがちになる傾向があります。岩崎さんは、保健所に入入りするようになってからは、さまざまな催し物や講座のチラシに興味をひかれ、「参加してみようかな」という気持ちになったと言います。今、「地域が楽しい」と言わんばかりに話される岩崎さんですが、実は4年前、大病をして3か月の入院生活を送りました。そのとき、「物が美しく見えなかった」そうで、健康が資本であることを強く感じ、まだ現役であったにもかかわらず、企業社会で闘う自分と決別します。

妻からの声かけがきっかけとなり、今はすっかり地域に溶けこみ、犬猫の飼い主に正しい飼い方を知ってもらおうとい

う『犬猫ボランティア』の活動をはじめ、お年寄りを訪問して体操を覚えてもらう『運動推進会』に参加したり、高津市民館主催の高津地域セミナーの企画委員としても活動する忙しい日々を送っています。保健所で知り合った



仲間とは、旅行に出かけるまでになりました。

## 幸せを売る男になりたい

岩崎さんは、自分自身が健康で、日々充実していることは基本であるけれど、

むしろ、人が幸せになることによって自分も幸せになれると思っているので、「幸せを売る男になりたい」と考えています。

今後は、子どもと高齢者が交流できる場づくりや、一人暮らしの人々が安心して住めるような『コミュニティ・ハウスをつくる会』の活動もやってみたいとのこと。岩崎さんは、地域へ一歩踏み出すことで世界が広がり、自分らしさを発揮できた人のモデルのような方です。



溝の口ノクティ 2 内喫茶室にて